

令和8年8月期 業務実績報告書（経営総務課）

一般事項

1 水道料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較(C-B)	F 対前年比較(D-B)
1 調定件数	件	28,120	144,534	150,500	151,042	△ 5,966	△ 6,508
※免除前	件	30,055	150,433	150,500	151,042	△ 67	△ 609
2 調定水量	m ³	588,563	2,955,637	3,010,100	3,051,341	△ 54,463	△ 95,704
3 調定料金(税抜)	円	124,060,104	740,468,008	924,600,000	936,768,100	△ 184,131,992	△ 196,300,092
※免除前	円	181,873,504	914,039,707	924,600,000	936,768,100	△ 10,560,293	△ 22,728,393
4 口振加入件数	件	22,536	116,922	-	120,600	-	△ 3,678

2 下水道使用料調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較(C-B)	F 対前年比較(D-B)
5 調定件数	件	19,588	97,824	98,200	97,224	△ 376	600
6 調定水量	m ³	382,541	1,905,493	1,920,500	1,926,002	△ 15,007	△ 20,509
7 調定料金(税抜)	円	80,235,229	400,208,056	401,000,000	403,048,164	△ 791,944	△ 2,840,108

3 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	69,583	-	71,145	△ 1,562
9 給水件数	件	29,958	-	30,033	△ 75
10 開栓処理件数	件	171	1,206	1,246	△ 40
11 閉栓処理件数	件	165	1,066	1,124	△ 58
12 給水工事設計審査	件	7	100	179	△ 79
13 給水工事竣工検査	件	53	198	184	14
14 経年メーター交換	件	452	1,765	1,734	31
15 メーター口径変更	件	4	11	16	△ 5
16 督促状発送数	件	1,369	6,791	7,183	△ 392
17 月末停止件数	件	147	-	129	18

4 排水設備業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	4	59	96	△ 37
19 排水設備工事完了検査	件	11	83	77	6

5 水道料金徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率	対前年比(B-D)
20 当年度分	143,706,408円	82.36%	220,391,445円	78.61%	3.74%
21 過年度分	3,815,147円	98.08%	3,565,559円	98.20%	△0.12%
22 計	147,521,555円	-	223,957,004円	-	-

6 下水道使用料徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率	対前年比(B-D)
23 当年度分	110,255,906円	74.95%	113,752,256円	74.34%	0.61%
24 過年度分	1,251,020円	98.74%	1,100,141円	98.92%	△0.18%
25 計	111,506,926円	-	114,852,397円	-	-

7 下水道受益者分担金・負担金徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率	対前年比(B-D)
26 当年度分	3,416,180円	80.15%	4,562,920円	75.78%	4.37%
27 過年度分	1,281,230円	12.56%	1,254,000円	7.57%	4.99%
28 計	4,697,410円	-	5,816,920円	-	-

特記事項

1. 8月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

【水道事業】

ア 収益的収支

当期の給水収益は136,466千円（税込）で、前月期に比べて150千円の増、対前年同月比では73,504千円の減となり、物価高騰に対する水道基本料金の免除に伴い、給水収益としては減額となっています。営業収益は136,930千円、営業外収益は預金利息や事務手数料など7,412千円を執行しました。当期の営業費用は原水及び浄水費や配水費など101,203千円、営業外費用は企業債利息として7,797千円、特別損失はその他特別損失として8千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、執行がありませんでした。支出は、建設改良費として機器整備や事務費など7,245千円、企業債償還金として87,648千円を執行しました。

【下水道事業】

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は88,119千円（税込）で、前月期に比べて50千円の増、対前年同月比では2,440千円の減となっています。営業収益は88,119千円、営業外収益は他会計補助金や預金利息など261,160千円を執行しました。

当期の営業費用は管渠費や処理場費など93,086千円、営業外費用は企業債利息として58,811千円、特別損失はその他特別損失として6千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、他会計出資金など384,290千円の執行となりました。支出は、建設改良費として事務費3,112千円、企業債償還金として178,208千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 指定給水装置工事事業者会議及び排水設備等工事公認業者講習会を開催

8月25日（火）にエスピー食品とよま蔵ジヤム（登米総合体育館）において、指定給水装置工事事業者会議及び排水設備等工事公認業者講習会を開催しました。

市内外の関係業者118社が出席の中、給水装置工事施行要領の一部見直しや浄化槽整備事業の整備手法の変更などについて説明を行いました。この会議及び講習会は、適正な給水装置工事及び排水設備工事を行っていただくこと、各種申請手続きや補助制度等を周知することにより、指定業者・公認業者及び主任技術者・責任技術者の知識を深めていただくことを目的として、毎年開催しています。



(2) 水道週間作品コンテストの全国コンテストへ出品する応募作品を選考

水道に関する図画や作文などの作品を通じて、水資源の大切さを多くの皆さんに感じていただくことを目的に「第68回水道週間作品コンテスト」を実施し、総数192点の応募がありました。

8月6日（木）審査員6名により、部門ごとに応募作品の審査を行い、全国コンテストに出品する優秀作品を選考いたしました。

<全国コンテスト出品数>

作文の部：小学生高学年2点、中学生1点

図画・ポスターの部：小学生低学年4点、小学生高学年4点、中学生4点

習字の部：小学生低学年4点、小学生高学年4点

標語の部：4点

令和8年8月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	798,617	3,932,071	4,187,210	4,198,414	△ 255,139	△ 266,343
総配水量	743,483	3,640,291	3,729,000	3,887,836	△ 88,709	△ 247,545
1 有効水量	623,394	3,104,917	3,203,880	3,233,133	△ 98,963	△ 128,216
(1) 有収水量	592,978	2,977,781	3,032,600	3,073,650	△ 54,819	△ 95,869
(2) 無収水量	30,416	127,136	171,280	159,483	△ 44,144	△ 32,347
2 無効水量	120,089	535,374	525,120	654,703	10,254	△ 119,329
(1) 漏水量	119,383	533,652	522,000	653,198	11,652	△ 119,546
(2) その他無効水量	706	1,722	3,120	1,505	△ 1,398	217
3 有収率	79.76%	81.80%	81.32%	79.06%	0.48%	2.74%

※ 当月期の最大配水量は、8月7日（金）に記録した【25,091m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	2	61,894	2	54,593	0	0	7,301	88.2%
浄水施設整備事業	2	1,506,556	1	1,481,993	0	4,106	20,457	98.6%
配給水施設整備事業	34	805,534	16	192,349	0	26,658	586,527	27.2%

※ 件数及び金額は、工事＋委託（事務費・人件費含む。）の合計です。

特記事項

保呂羽水系の水道水における臭気の発生

30日(日)、中田町石森地区の住民から、水道水から異臭がするとの通報を受け委託業者が現地で調査したところ、カビ臭、土臭等の臭気を確認しました。

保呂羽浄水場において水質検査を実施した結果、30日(日)・31日(月)に採水した原水及び浄水から臭気の原因となる成分(ジオスミン)が高濃度で検出されたため、北上川から原水をくみ上げる下り松ポンプ場において、臭いの原因物質を吸着させ取り除くことに有効である粉末活性炭の注入率を2.0mg/ℓから5.0mg/ℓに増量するとともに、粉末活性炭の注入量を更に増量するため、専門業者の協力のもと、仮設の注入設備を保呂羽浄水場に設置しました。

また、浄水処理の過程で使用する次亜塩素酸ナトリウム(塩素)により臭気の原因となる成分が増加する可能性があったことから、その注入量や注入するタイミングを調整するなどの取組を継続して実施しています。

この臭気の発生に関しては、北上川上流部で植物プランクトン(藻類)が大量発生したことが原因である可能性があるものの、詳細については不明となっています。なお、臭いの原因となる成分に毒性は無く、水道水をご利用いただいても健康への影響がないことなどについて、HP、メール、防災無線等を通じて市民の皆様へ周知を行っています。



【仮設注入設備設置の様子①】



【仮設注入設備設置の様子②】

◎ 漏水調査結果(累計)

漏水調査結果	施設	件数	漏水量(m ³ /h)
	配水管	41	25.920
	付属施設	0	0.000
	給水装置	44	14.490
	計	85	40.410

【漏水調査結果：8月】

○推定漏水量 14.200m³/h

○推定効果額 約3,326千円

○推定効果額算定

・R7年度給水原価 314.78円

・8月推定漏水量 11.420m³/h

・14.200m³/h×24h×31日×314.78円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位：m³)

項 目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D)	備考
				対前年度 (B)-(C)	
公共下水道(迫・中田・登米・南方)	264,704	1,258,625	1,278,339	△19,714	1処理場
特定環境保全公共下水道	56,072	268,131	267,646	485	3処理場
米谷・錦織処理区	10,439	49,128	57,084	△7,956	
豊里処理区	32,479	158,519	152,525	5,994	
津山処理区	13,154	60,484	58,037	2,447	
流域関連特定環境保全公共下水道(石越)	10,904	55,728	59,459	△3,731	
農業集落排水	124,091	601,957	575,145	26,812	24処理場
迫地区	9,964	45,234	42,767	2,467	
東和地区	2,776	13,060	13,947	△887	
中田地区	34,798	160,995	163,536	△2,541	
豊里地区	2,018	8,632	10,128	△1,496	
米山地区	53,745	270,638	247,908	22,730	
南方地区	20,791	103,397	96,859	6,538	R8.4.1時点
浄化槽(特地・個排)	44,800	226,275	221,658	4,617	2,311基
合 計	500,571	2,410,717	2,402,247	8,469	

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	7	353,449	3	74,678	0	3,894	274,877	22.2%
処理施設整備事業	6	795,751	4	516,428	0	16,045	263,278	66.9%

※金額は、工事＋委託(事務費・人件費含む)の合計金額を記載。件数は、更新工事を除いた件数を記載。

※ポンプ施設整備事業については、令和8年度の予算計上が無いので状況報告から除く。

特記事項

1 迫町大東地区舗装復旧工事が完了

8月期に迫町大東地区舗装復旧工事が完了しました。この工事は、令和6年度に雨水排水路の整備を実施し、仮復旧の状態となっていた道路舗装の本復旧(施工面積A=4,500m²【うち車道3,710m²、歩道790m²】)を行ったものです。

この工事をもって、迫町大東地区の浸水被害を解消するため、平成30年度から整備を進めてきた雨水排水路整備事業は完了となります。今後は整備効果の検証を行いながら、整備した施設の機能を損なうことが無いよう、適切な維持管理を行ってまいります。

2 長沼川マンホールポンプ場で故障警報が発生

8月期に迫処理区の長沼川マンホールポンプ場において、No.1ポンプの故障警報が発生しました。現地確認の結果、水位計の位置ズレにより汚水が無い状態でポンプが空運転し、過熱により警報装置が作動したものと判別しました。水位計の引上げ整備を実施し、現在は正常に稼働しております。今後も安全・安心の確保に向け、適切な維持管理に努めてまいります。



【舗装復旧後の状況】

公共汚水ます
の照会状況
(8月末)

照会件数

270件